

授業科目名	社会的養護内容	担当教員名	入江 実
必修/選択	必修(保育士資格)	開講学年・学期	3年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分		単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の到達目標	社会的養護の実際をテキストをもとに、学生自らがまとめ発表することで、子どもにとって一番重要とされる家庭の役割、そしてそれをとりまく環境に対して果す家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉の意味を理解してもらう。また、学生自らの課題をも認識させたい。		
授業の概要	テキスト実践編内の数ページを二人一組(あるいは三人一組)で、学生自ら模造紙にまとめ発表する形式で演習を進める。一方、発表を聞いている学生は発表者のまとめを自らのノートに書き、発表者の説明を聴くこと、すなわち「読み、書き、聴く」を通して理解を深めてもらう。		
テキスト	「社会的養護内容」谷口順世、山縣文治編著 (ミネルバ書房)		
参考書・参考資料等	特に指定せず		
成績評価の方法	○授業への参加意欲：20% ○レポート：25% ○定期試験：55%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	演習の進め方		
第2回	1.社会的養護の内容 (1)社会的養護における子どもの理解		
第3回	1.社会的養護の内容 (2)日常生活支援		
第4回	1.社会的養護の内容 (3)治療的支援		
第5回	1.社会的養護の内容 (4)自立支援		
第6回	2.社会的養護の実際 (1)施設養護の生活特性及び実際		
第7回	2.社会的養護の実際 (2)家庭養護の生活特性及び実際		
第8回	新聞記事を教材とした学習		
第9回	3.社会的養護における支援の計画と記録及び自己評価 (2)社会的養護に関わる相談援助の知識、技術とその実践		
第10回	3.社会的養護における支援の計画と記録及び自己評価 (2)記録及び自己評価		
第11回	4.社会的養護に関わる専門的技術 (1)保育の専門性に関わる知識・技術とその実践		
第12回	4.社会的養護に関わる専門的技術 (2)社会的養護に関わる相談援助の知識、技術とその実践		
第13回	5.今後の課題と展望 (1)社会的養護における家庭支援		
第14回	5.今後の課題と展望 (2)社会的養護の課題と展望		
第15回	全体のまとめ		
定期試験	筆記試験		